令和7年度 第2回逢妻地域会議 会議録

■日時 令和7年6月18日（水） 午後6時30分～7時30分

■場所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

<委員>	都築 幸雄（会長）	岡部 千治（副会長）	加納 勝彦
	岡田 一	竹原田 力	杉浦 正司
	松崎 康則	松下 正治	西 澄弘
	岩内 輝義	今村 典夫	千葉 洋
	原田 裕美	柿本 敏光	
<欠席者>	天野 正男	原田 朋美	鈴木 仁
<事務局>	塚田 征弘（地域交流課 副課長）	前田 浩貴（地域交流課 担当長）	
	深見 洸成（地域交流課 書記）		

■次第

- 1 会長あいさつ
- 2 提言内容（取組内容・行政に求める支援）の検討
- 3 地域会議開催スケジュールについて

■議事（要約）

- 2 提言内容（取組内容・行政に求める支援）の検討

提言内容について、3グループに分かれて意見交換を実施した。各グループでまとめた内容について発表を行い、全体へ共有を行った。

各グループでまとめた意見は次のとおり。

<Aグループ>

- ・自治区回覧等に備蓄品のチェックリストをいれて各家庭での備蓄品の用意を促す。数年ごとに実施し、自治区で状況を確認する。
- ・家具固定の支援と手助けをするために防災お助け窓口を設ける。

【行政に求める支援】

- ・備蓄品購入についての財政援助。
- ・要支援者の情報の確認。
- ・市の事業として訪問活動の実施。
- ・防災訓練等での「無事ですタオル」の配布。
- ・地域会議委員は2年で交代してしまうため、今回の検討・提言内容を後年に継続できるようにしてほしい。

<Bグループ>

【短期的な取組】

- ・「家具固定の実施割合の向上」を含め、具体的な取り組みとして、自治区回覧により家具固定や食料の備品を呼びかけるチラシの折り込みを実施する。
- ・コミュニティ内の防災に関するネットワークづくりを目指すため、毎年、各自治区1名を選出し、防災士や防災介助士の資格取得者を増やす。

【中期的な取組】

- ・地区全体で協力できる体制づくりについては、「検討」ではなく「進める」とことと明記し、防災士や防災介助士を中心に体制づくりを進めることとする。

【長期的な取組】

- ・訓練については「企画」に留まらず、「企画・実施する」とことと明記する。

【行政に求める支援】

- ・防災士や防災介助士資格取得に係る受講料の補助拡大をお願いする。

<Cグループ>

- ・マンション、アパート住民を含め、地域内のコミュニケーションを進める。
- ・「無事ですタオル」の取組みを進め、地区コミュニティの防災意識の向上を目指す。
- ・防災訓練の参加者が組長など限定されているため、住民の参加を促し、防災訓練を浸透させ、より多くの人に防災意識を持ってもらう。
- ・訓練の参加者を増やすためには子供の参加が必要。学校と連携した防災訓練が効果的と考えるため、地域で統一的に取り組むために「防災の日」を定める。
- ・家具固定が必要なことは皆わかっているが行動できていない。行動に移すまでの支援が必要。

●令和7年度 第3回逢妻地域会議

日時：令和7年7月16日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館多目的ホール